



平山郁夫

故郷の風景

平山郁夫 《月華巖島》 1993年 朝日生命保険相互会社蔵（展示期間：6/26～9/26 予定）

2021
6/26^{sat}—12/27^{mon}

休館日＝会期中無休

開館時間＝10：00—17：00（入館は16：30まで）

入館料＝一般1200円 高大生800円 小中学生 無料

*障がい者手帳をお持ちの方無料、介護者の方1名まで600円 *70歳以上の方、20名様以上の団体 各100円割引

主催＝公益財団法人平山郁夫シルクロード美術館

後援＝山梨県、山梨県教育委員会、北杜市、北杜市教育委員会、朝日新聞甲府総局、山梨日日新聞社・山梨放送、読売新聞甲府支局、信濃毎日新聞社、八ヶ岳ジャーナル、テレビ山梨、エフエム富士、エフエム八ヶ岳

平山郁夫シルクロード美術館
HIRAYAMA IKUO SILK ROAD MUSEUM



令和3年度文化庁文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光推進事業

入館料100円引き
本チラシを受付にて提示ください
期間中、本チラシ1枚につき
1名様まで有効

平山郁夫 故郷の風景

ふるさと



平山郁夫 1999年 生口島にて

平山郁夫は、1968年から日本文化の源流を求め、仏教伝来の道でもあるシルクロードを旅し、平和を祈りながら描き続けた、戦後を代表する日本画家であります。生涯を通じてシルクロードの取材は150回を超え、それらの成果は数々の名画として誕生しました。画家は、こうした度重なる取材旅行の中で、1990年代の平成の時代に入ると、改めて日本の素晴らしさに気付き、画題をわが国へと求めていきます。

本展は、そうした日本を題材とする作品の中から、平山の原点である「広島」に焦点を当て、瀬戸内海の島々などを描いた《天かける白い橋 瀬戸内しまなみ海道》(2000年)をはじめ、故郷の生口島の素描作品を中心に紹介し、また広島の世界文化遺産である厳島神社を描いた大作《月華厳島》(朝日生命保険相互会社蔵)も合わせて展示します。



《因島大橋夕陽》1999年 平山郁夫美術館蔵



《多々羅大橋 夜景》1999年 平山郁夫美術館蔵



《天寧寺より 尾道大橋遠望》1999年 朝日生命保険相互会社蔵



《燦・瀬戸内(輝く瀬戸内海)》1997年 平山郁夫シルクロード美術館蔵

「平山郁夫 故郷の風景」展 学芸員によるみどころ解説

日時：9月25日(土)、10月16日(土)、11月20日(土)
いずれも土曜日 14時より(予定)

次回展案内

平山郁夫 悠久の旅路(仮)

2022年3月中旬(予定)



《敦煌A》1980年 平山郁夫美術館蔵

「化石発掘体験2021」 参加者募集



開催日：2021年7月10日(土)～11日(日)、7月17日(土)～18日(日)
7月24日(土)～28日(水)、7月30日(金)～8月3日(日)

時間：①10時30分～、②13時～、③15時～

定員：各回30名(土、日は40名)

内容：各回1時間15分、はじめ10分はレクチャー

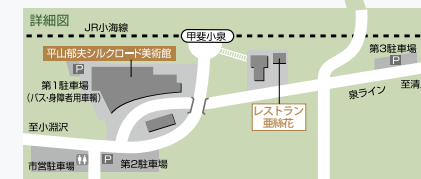
持ち物：軍手、日よけのための帽子、飲み物、マスク

講師：平山廉(早稲田大学教授)、渡辺真人(早稲田大学)、
鶴野光(早稲田大学)、笹口新(東京学芸大学大学院)、
町田悠輔(愛媛大学大学院) *講師は体験日により異なります。

場所：平山郁夫シルクロード美術館 屋上らくだ公園 *雨天決行
体験料：一般1,200円(美術館入館料込み)、中学生以下600円(中学生以下美術館入館無料)

申込み期間：6月10日(土)～7月2日(金) 10時～17時

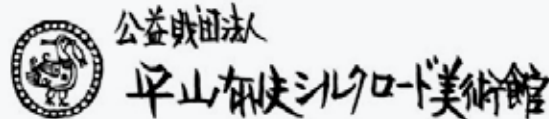
申込み方法：当館HP化石発掘体験2021専用サイトよりご応募ください。



電車：新宿駅(JR中央線特急・約2時間)⇒小淵沢駅(JR小海線・7分)⇒甲斐小泉駅
自動車：小淵沢ICより約10分。八ヶ岳高原ライン小荒間交差点を右折後、踏切を越えてすぐ左折後300m

展示・イベント開催に関して

新型コロナウイルス感染拡大により、展示・イベント等が中止となる可能性があります。ご来館前にHPをご確認いただくか、お電話にてお問い合わせ下さい。



〒408-0031 山梨県北杜市長坂町小荒間2000-6
Tel. 0551-32-0225
www.silkroad-museum.jp

